

果 樹

本成績・概要カード” 記入要領

- ※ 濃い鉛筆か黒の万年筆、黒のボールペン等を用いて楷書体で記入してください。
(本成績書・概要書ともに、そのまま写真印刷になります)
- ※ パソコン等で作成する場合は、必ず様式を合わせて下さい。
- ※ 本成績書はA4、概要カードはA4(半分)です。用紙の拡大、縮小はしないで下さい。
- ※ 片面印刷で、提出してください。両面印刷はしないでください。
- ※ ホチキス(ステープラ)でとめないでください。止める場合は、クリップをお願いします。

- ※ 農薬登録のガイドラインの整備に伴い、試験成績書に供試薬剤のロット番号を記載することが義務づけられましたので、供試したサンプルのロット番号の記載をお願いいたします。供試薬剤が製品で、ロット番号がない場合は製造番号をご記載下さい。
- ※ 非公開試験を除く、全ての成績書は、本成績書と概要書で、1セットです。

1. 除草剤試験について

A 本成績書

- (1) 除草剤試験成績書用紙(2枚1組)の様式に従い、「記入例」を参照の上、作成下さい。
- (2) 春と夏の処理がある場合は、別々にとりまとめて下さい。

B 概要カード

- (1) 「成績概要カード記入例」を参照の上、ご作成下さい。
- (2) 春と夏の処理がある場合は、別々に取りまとめて下さい。
- (3) 対照薬剤区も記載して下さい。

2. 薬害試験について

A 本成績書

- (1) 薬害試験用成績書用紙の様式にてご作成下さい。

B 概要カード

- (1) 生育調節剤概要カードの様式にてご作成下さい。

3. 生育調節剤試験について

A 本成績書

- (1) 「参考様式」を参照の上、A4 サイズの用紙(白紙・2枚以内)に、作成下さい。
- (2) 対象果樹・品種・試験方法を指定してある場合は、それらごとにそれぞれ取りまとめて下さい。
- (3) 適用性試験は、実用性の判定をご記入下さい。
- (4) 気温は最高気温、最低気温(必要に応じて平均気温)を記載して下さい。

B 概要カード

- (1) 調査結果欄は、目的とする効果に関連する数値を含めて本成績書より適宜選択しご記入下さい。

成績書、概要カードの枠(Word2000、Excel2000)を希望される場合

当協会ホームページ <http://www.japr.or.jp/> 内の「除草剤試験実施基準」のページにある「試験成績の用紙」より、ダウンロード出来ます。成績書の提出は、必ず、プリントアウトした物を、郵送、宅配便等でご送付下さい。e-メールでの送信はご遠慮下さい。

注) パソコンにて作成の際には、文字切れ等のチェックを必ずして下さい。

近年、パソコンで作成した成績書・概要書(特にExcel)において、所見等の文章が一部表示されていないものが増えていきます。

提出する前に、全ての文章が表示されているかどうか、プリントアウトした物(ディスプレイ上と異なる場合があります)で、いま一度確認をお願いいたします。

記入例

平成 ** 年度 果樹関係 除草剤 試験成績書

実施年度を忘れずに書く

送付された薬剤のボトル・袋などに記載されている番号を記入
市販品の場合は製品番号を記入

薬剤名 **ABC-123** 剤型 **液**

有効成分 **XXX 10%**

及び含有率

ロット番号 **XYZ1234**

試験名を記入する。
(商品名で記入しない)

試験機関 **〇〇県果樹試験場**

担当者名 **植調 太郎、牛久 花子**

試験圃場名 **場内圃場**

圃場所在地 **〇〇県〇〇市●●**

試験途中に担当者が異動した場合は、前任者名も併記する。

試験目的：**ナシ圃場の、春処理での一年生雑草に対する効果薬害の確認**

I. 試験圃場等の概況

実施年を忘れずに書く

- 処理時期：**春**期，平成 **年 **5**月 **1**日，天候（処理時；**晴**）
- 対象樹種（品種）：**ナシ**（**幸水**）台木 **やまなし台** 樹齢 **15**年生
- 栽培様式：**草生** 栽培 **樹列間、樹冠下、園内のり面、その他：**
(○で囲む、その他は記入)
- 土壌及び地況

土 壌 型	土 性	有機物含量	傾斜の程度	処理時の土壌の乾湿	特 記 事 項
淡色黒ボク土	埴壌土	(%) 5.3	平坦	やや乾	

- 処理前後の気象 (欄は、処理日)

月 日	4/27	28	29	30	5/1	2	3	4	5	6	7	8	9
最高気温 (°C)	15.0	18.2	20.4	22.3	12.1	13.2	19.9	25.3	26.2	24.9	15.0	12.9	17.7
最低気温 (°C)	7.2	9.2	5.5	12.1	10.0	11.5	12.2	10.2	14.3	14.2	12.0	10.1	11.2
降水量 (mm)					7.0	1.0			0.5		25.3		

- 試験実施上の特記事項

病害、災害、気象条件等：**処理日の降雨は、処理後7時間以降のものである。**

栽培管理等：**4月10日にツククサ種子を播種した。**

II. 処理方法と試験区

- 対象草種<処理時に試験圃場に発生している主な雑草> (対象外草種に*印)

草種名	スズメカササギ	ナズナ	カスノヒトウ	ツククサ	スギナ*	
被度 (%)	30	18	25	20	23	
草高 (cm)	20	25	30	18	23	

- 試験区

試験区	薬量	水量	展着剤と添加量	処理方法	散布方法 器具等	試験区の大きさ 及び反復数
無処理 (放任)	g/mL /10a	L/10a	—			
ABC-123 液剤	300	100	〇〇〇液剤 1mL/L	茎葉処理	散布機の機種 背負式電動噴霧器 散布ノズル 専用ノズル 散布圧 3.5kgf/cm² 飛散防止カバー 無	8m² 2反復
	400	100	〃	〃		
	500	100	〃	〃		
対照薬剤 (DEF 液)	400	100	—	〃	〃	〃

試験名を記入する。

対象薬剤は商品名を
省略せずに書く

注) 処理方法は土壌処理、茎葉処理、スポット処理など具体的に記入する。

III. 試験結果のまとめ

1. 除草効果

(春 期、試験の終了日；平成**年 6月30日)

試験区	効 果			効果の 程 度	抑草期間	薬害の 有 無	総合評価
	発現日 (再生発 現)	完成日 (-)	再生発現 (-)				
1 無処理 (放任)	—	—	—	100%*	日	—	
2 300mL/100L	2日	10日	30日	5	50	無	++
3 400mL/100L	2	10	30	2	50	無	++
4 500mL/100L	1	8	45	1	60	無	×
5							
6 対照薬剤 (DEF液)	5	10	20	18	30	無	++

注) 効果の () は土壌処理剤の場合の項目

2. 草種の変化と効果 (対象外草種に*印)

処理時の草種	被 度	終了時の草種	被 度	効果の高い草種	効果の低い草種
4 500mL/100L		(効果の最も高い試験区の例)		スズメノカタビラ	スギナ*
スズメノカタビラ	33%	スギナ*	13%	カラスノエンドウ	
カラスノエンドウ	25	スズメノカタビラ	1	ナズナ	
ツコクサ	20	カラスノエンドウ	0	ツコクサ	
スギナ*	20	ツコクサ	0		
ナズナ	15	ナズナ	0		

3. 考 察

① 雑草に対する効果

対象草種に対し除草効果の発現が早く、処理後1~2日より黄化開始した。効果の完成は10日で対照薬剤と同程度であったが、雑草の再生抑制効果は高く、抑草期間は対照薬剤に比べ長かった。スギナ等多年生雑草に対する効果は劣る。

② 薬 害

薬害症状は認められなかった。

調査対象の主要雑草以外で効果の有無が判断できる草種があれば記述する

③ 総 括

一年生雑草に対する効果高く抑草期間も十分であり、ナシに対する安全性も高いと考えられることから実用化可能である。

IV. 実用性の判定

試験区 (薬量)	殺草力 の強さ	効果発現 の遅速	抑草期間 の長短	判 定	実用化の条件			
					対象雑草	処理時期	薬量(水量)	使用目的/場面
300mL/100L	強	速	長	○	一年生 雑草	春期雑草 生育期	300~500mL /100L/10a	刈り取り 代用
400mL/100L	強	速	長	○				
500mL/100L	強	速	長	○				

普及・指導上の参考事項 (薬量の範囲等も含む) :

草丈が30cm以下の雑草に安定した効果を示す。

試験継続の場合の検討・改善事項 :

薬 剤 名	剤型	試験機関	
有効成分 及び含有率		担当者名	
ロット番号		試験圃場名	
		圃場所在地	

作物名(品種名) _____

1. 目的

2. 試験方法

- 1) 供試樹 (品種・台木・樹齢) 及び栽培方法など
- 2) 処理区
- 3) 処理方法
- 4) 処理日
- 5) 試験の規模
- 6) 調査方法及び調査項目

3. 処理前後の気象 (処理日に○)

月 日														
最高気温 (°C)														
最低気温 (°C)														
降水量 (mm)														

特記事項：＜異常気象、処理後の降雨など＞

4. 結果の概要

- <結果の要約と考察>
- <実用性の判定 (適用性試験の場合) >
- <試験継続の場合の意見>

※適用性試験は、上記の部分に下表の「実用性の判定 (生育調節剤)」を必ず入れて下さい。
実用性の判定 (生育調節剤)

対象樹種 (品種)	目 的	試験区 (薬量) (水量)	実用上の適否	実用化の条件

5. 主要成果の具体的数値

※とりまとめは、A4用紙2ページとしてください。
※図表を掲載する場合は、白黒でも判別できるように作成下さい。